

5. 競争的研究資金獲得状況

○放射線リスク制御部門 放射線分子疫学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
サエンコ ウラジ ミール・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) Establishment of synthetic promoter-based system for sensing oncogenic alteration in human live thyroid cells at a single-cell level

○放射線リスク制御部門 国際保健医療福祉学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
高村昇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 「福島の後を見据えたチェルノブイリにおける疫学研究の展開」
高村昇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 「一般小児における甲状腺超音波所見の経時的変化の評価」
タチアナ ログノ ビッチ・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 「チェルノブイリ小児甲状腺癌のパラフィン組織バンク設立と新規癌遺伝子解析」

○放射線リスク制御部門 放射線災害医療学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
山下俊一・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(A) チェルノブイリ原発事故後の放射線発がんリスク分子疫学調査研究
山下俊一・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 甲状腺発がん予後決定分子機構の解明
山下俊一・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 甲状腺癌の原因物質の同定に向けた挑戦的疫学調査研究
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) DNA 損傷クロマチン応答のエピジェネティックメモリーの分子機構解明
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	原子力災害影響調査等事業『放射線の健康影響に係わる研究調査事業』 小児期の生活習慣等の低線量放射線発がんリスクにおよぼす影響とメカニズム解明
鈴木啓司・准教授	文部科学省	分担	原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ 子ども被ばくによる発がんリスクの低減化とその機構に関する研究
光武範史・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) チェルノブイリ小児甲状腺がんにおけるDNA 修復関連遺伝子群の分子遺伝疫学研究

光武範吏・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) ゲノム不安定性を誘発する先天性稀少疾患と小児がんコホートの分子遺伝疫学調査
光武範吏・准教授	日本医療研究開発機構	分担	ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明研究
松瀬美智子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 甲状腺癌幹細胞をターゲットとした放射線感受性関連遺伝子スクリーニング

○放射線リスク制御部門 放射線生物・防護学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
松田尚樹・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) コミュニティの参画した新しい放射線教育のための放射線指導パッケージの開発
山内基弘・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) CRISPR/Cas9 を用いた癌関連融合遺伝子の生成・生成抑制機構の解明

○細胞機能解析部門 幹細胞生物学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
李 桃生・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)	代表	橋渡し研究加速ネットワークプログラム(シーズA) ニカラベンが放射線治療副作用の軽減効果
李 桃生・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 放射線被ばくによる組織幹細胞への影響と非がんリスク評価
李 桃生・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 心臓再生ニッチの探索と構築
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (A) ゲノム不安定性を誘発する先天性稀少疾患と小児がんコホートの分子遺伝疫学調査
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 下肢虚血性潰瘍に対する低酸素刺激を加えた細胞シートによる治療法の開発
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 臨床応用を目指した幹細胞プレコンディショニングによる血管細胞治療の効果の向上
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 遠隔臓器虚血プレコンディショニングによる脊髄虚血耐性効果の臨床的検討
浦田芳重・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 肺高血圧症の早期診断における新規酸化ストレスマーカーの探索的検討
浦田芳重・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B)

			放射線被ばくによる組織幹細胞への影響と非がんリスク評価
後藤信治・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 生体防御調節因子の細胞内挙動に基づく新規がん幹細胞マーカーの探索
小野悠介・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (A) 健康寿命の延伸に寄与する骨格筋由来分泌因子の同定・機能解析とその応用
小野悠介・助教	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 生体恒常性維持における骨格筋の新たな役割
藤田 諒・学振特別研究員	日本学術振興会	代表	特別研究員奨励費 骨格筋再生における骨格筋幹細胞の階層性・非均質性の生理的意義の解明
小野悠介・助教	文部科学省	代表	テニユアトラック普及・定着事業 (個人選抜型) 骨格筋幹細胞制御によるサルコペニアおよび筋ジストロフィー症の治療法の開発
小野悠介・助教	公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団	代表	第 30 回基礎医学医療研究助成金 骨格筋再生メカニズム解明を目指した新規培養法の確立
小野悠介・助教	公益財団法人日本科学協会	代表	平成 27 年度笹川科学研究助成金 運動の漸進的効果を介在する骨格筋の内分泌機能の解明
藤田 諒・学振特別研究員	公益財団法人明治安田厚生事業団	代表	第 32 回若手研究者のための健康科学研究助成 骨格筋委縮を制御する新たな分子ターゲットの同定ー骨格筋部位特性に着眼してー

○細胞機能解析部門 分子医学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
永山雄二・教授	長崎大学	代表	大学高度化推進経費 長崎大学第二期中期目標・中期計画における重点研究 放射線健康影響リスク制御国際戦略拠点
永山雄二・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 甲状腺自己免疫の研究：マウスにおける抗 TSH 受容体免疫反応と免疫寛容
蔵重智美・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 甲状腺における放射線誘導性発癌モデル作成および抗酸化剤の DNA 損傷抑制効果の解明
嶋村美加・研究機関研究員	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 甲状腺癌幹細胞の研究：ALDH の機能解析と可塑性について
中原麻美・客員研究員	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) よりよいバセドウ病・バセドウ病眼症マウスモデルの作製

○ゲノム機能解析部門 人類遺伝学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
吉浦孝一郎・教授	厚生労働省	代表	難治性疾患実用化研究事業(難病関係研究分野) エピジェネティック希少疾患の治療に向けた研究および原因未解明な希少疾患に対する解析技術展開研究
吉浦孝一郎・教授	厚生労働省	分担	難治性疾患等政策研究事業 国際基準に立脚した奇形症候群領域の診療指針に関する学際的・網羅的検討
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金(基盤研究(B)) 歌舞伎症候群解析から広げる全ゲノム対象エピジェネティック解析法の開発
木下 晃・講師	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金(基盤研究(C)) 患者由来 iPS 細胞を用いた TGF シグナル異常骨系統疾患の治療法の開発
三嶋博之・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金(基盤研究(C)) ヒト全ゲノムシーケンスのための統合アノテーションワークフローの構築

○原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宮崎泰司・教授	厚生労働省	代表	厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)アジア諸国の献血制度の構築と普及に関する研究
宮崎泰司・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等施策研究事業(難治性疾患政策研究事業))特発性造血障害に関する調査研究(研究代表者:荒井俊也)
今泉芳孝・講師	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)HTLV-1キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備とATL/HTLV-1感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究(研究代表者:内丸 薫)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム)創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立(白血病ゲノムに基づく層別化治療の確立)(研究代表者:直江知樹)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業)AYA世代における急性リンパ性白血病の生物学的特性と小児型治療法に関する研究(研究代表者:早川文彦)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業)高齢者MDSのクローン進化の経時的理解に基づく新たな治療戦略の構築(研究代表者:小川誠司)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業)成人慢性好中球減少症の診療ガイドライン作成に向けた予後追跡調査(研究代表者:千葉 滋)

宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(難治性疾患克服研究事業(難治性疾患等実用化研究事業) (難治性疾患実用化研究事業)) ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患群の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明 (研究代表者: 萩 朋男)
今泉芳孝・講師	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の開発 (研究代表者: 塚崎邦弘)
今泉芳孝・講師	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) ATL の分子病態に基づく治療層別化のためのマーカー開発と分子標的の同定、および革新的マウス急性型 ATL 実験モデルを用いた臨床応用への展開 (研究代表者: 瀬戸加大)
今泉芳孝・講師	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 成人T細胞白血病・リンパ腫 (ATL) に対する新規治療を開発する医師主導治験 (研究代表者: 石塚賢治)
田口 潤・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究 (研究代表者: 福田隆浩)
宮崎泰司・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 原爆被爆者にみられる骨髄異形成症候群の臨床的特徴と遺伝子変化の解明

○原爆・ヒバクシャ医療部門 腫瘍・診断病理学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 放射線誘発甲状腺がんの発生機序の解明
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 甲状腺がん発症の分子機構と予後決定因子の解明
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (A) チェルノブイリ原発事故後の放射線発がんリスク分子疫学調査研究
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 福島の後を見据えたチェルノブイリにおける疫学研究の展開
七條和子・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究 (A) カザフ核実験場周辺住民の放射性降下物被曝の実態解明—線量評価及び健康影響解析—
松田勝也・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 尿細胞診でのゲノム不安定性を指標とした低異型尿路上皮癌新規診断マーカーの開発
松田勝也・助教	黒住医学研究財団	代表	第 23 回研究助成金 DNA 損傷応答分子 53BP1 発現による甲状腺濾胞性腫瘍術前診断マーカーの開発

○原爆・ヒバクシャ医療部門 アイソトープ診断治療学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
工藤 崇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) FDG PET 腫瘍診断と腫瘍遺伝子変異の関連に基づくテーラーメイド医療の開発
西 弘大・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 癌関連アミノ酸トランスポーターsystem ASC・N 特異的主要診断用薬剤の開発

○資料収集保存・解析部 資料調査室(原研情報室)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
三根真理子・客員教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 被爆高齢者5万人のデータから得る健康長寿要因を一般高齢者に適用するためには
近藤久義・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 気象・大気データを含む小地域地理要因と癌罹患率との関連

○資料収集保存・解析部 生体材料保存室

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
三浦史郎・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 長崎原爆被爆者腫瘍バンクを用いた網羅的遺伝子解析研究
松山睦美・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) ラット放射線甲状腺腫瘍の年齢影響